

Fairy TopIX 2022 候補作一覧

※推理将棋・プルーフゲーム部門 候補作一覧

推1～推2	WFP作品展	P2～P3
推3	その他	P4
推4～推39	詰将棋メモ出題	P5～P40

候補作は全45作。基本2022年にWFP上に掲載された作品となります。2021年は40作ですので、5作増となりました。また今期も短編・中長編の区分けをなくしております。ご了承下さい。目次の通り掲載年月日順ではなく、発表場所別に分類しております。

【更新状況】

4/8 WFP作品展146-4～9が脱落していましたので推7～12に追記しました。以下繰り下げし、計45作となりました。また推1, 2の図面が見えなかったため修正しました。

推1 2022/4 はなさかしろう作

推理将棋『1・2+3枚・45手』

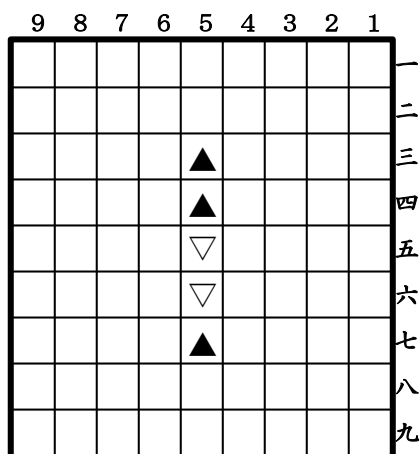
1)45手で盤上が図の配置になって詰んだ

(先手駒：53、54、57/後手駒：55、56)

2)飛の不成なし

3)駒種の先後通算連続着手は共に8筋の桂取りから始まる馬4連続と龍11連続のみ

(詰上りの盤面の駒配置)



※▲：先手駒、▽：後手駒

<第141回WFP作品展 141-1 >

76歩 32飛 33角成 62玉 23馬 37飛成 88銀 同角 41馬 97角成 68金 87馬 93
香成 27龍 83杏 47龍 73杏 同玉 21飛成 64玉 63馬 55玉 81馬 76馬 71馬
67馬 31龍 68馬 同玉 49龍 53馬 89龍 61龍 39龍 91龍 29龍 11龍 19龍 13
龍 17龍 43龍 57龍 同玉 56桂 54龍 まで 45手 正解者：1名(実質0名)

推2 2022/4 はなさかしろう作

推理将棋『1・2+3枚・馬杏』

- 1) 46手で盤上が図の配置になって詰んだ
(先手駒：54桂、55玉／後手駒：53玉、56馬、57成香)
- 2) 王手3回
- 3) 最初の同の手、最初の5筋の手、唯一の不成の手の順に着手があった

(詰上りの盤面の駒配置)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
				王					三
				桂					四
				玉					五
				雀					六
				卒					七
									八
									九

<第141回WFP作品展 141-2 >

76歩 42金 33角成 72金 23馬 88角成 13馬 97馬 31馬 17香成 68玉 27杏 77玉 37杏 66玉 87馬 21馬 69馬 43馬 79馬 42馬 同玉 55玉 89馬 93香 67馬 91香成 76馬 81杏 49馬 71杏 39馬 72杏 28馬 82杏 19馬 83杏 29馬 73杏 47杏 63杏 57杏 53杏 同玉 54桂 56馬 まで 46手 正解者：1名 (実質0名)

推3 2022/9 変寝夢作

推理将棋

(条件)

- ・4手で先手玉が詰まされた。
- ・安北ルールで指した。
- ・初手は歩の手だった。

<第4回フェアリー短編コンクール 第11番>

76歩 44歩 68王 76桂 迄4手 正解者：13名

推4 2022/1 NAO作

令和4年の決め手 7手

「あけましておめでとう。指し初めの一局はどうだった？」

「7手目に4筋の手を指して詰ませて勝ったよ」

「令和4年の元旦にぴったりだね。今年もよろしく」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 7手目4筋の手で詰んだ

<詰将棋メモ 第146回出題 146-1 >

▲76歩、△52玉、▲33角不成、△51金左、▲同角不成、△32銀、▲42金 まで7手 正解者：15名

推5 2022/1 諏訪冬葉作

新春9-2問題 9手

「今年の初対局は9手で勝ったよ」

「わーすごいね」

「最終手は11の駒を22に動かしたんだ。22年1月1日にふさわしいだろ」

「わーすごいね」

「7手目は77におまけの文字がつく手。景気よさそうだろ」

「わーすごいね」

「お前『わーすごいね』しかいってなくね？」

「わーすごいね」

「・・・」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・9手で詰んだ
- ・7手目は77で補助記号がある手
- ・9手目は11の駒を22に動かした

〈詰将棋メモ 第146回出題 146-2〉

▲76歩、△34歩、▲22角不成、△42玉、▲11角不成、△32玉、▲77角打、△42銀、▲22角引成 まで9手 正解者：15名

推6 2022/1 けいたん作

42金まで香落ち 10手

「42金まで10手で詰みか。香落ちは卒業かな」

「上手角が2回動いたね」

「上手に5～9筋の着手はないな」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

手合い割：香落ち

- ・42金まで10手で詰み
- ・上手角が2回動く
- ・上手に5～9筋の着手なし

<詰将棋メモ 第146回出題 146-3 >

△11角、▲76歩、△12飛、▲33角不成、△42金、▲同角不成、△41玉、▲31角不成、△22角、▲42金 まで10手 正解者：13名

推7 2022/1 NAO作

2022年の指し始め 11手

「初手と2手目は同じ種類の駒を同じ筋に指していたね。その後、11地点の手に対しては1筋の手で応じていたけど、あの将棋どうなった」

「11手目に22地点に小駒の手を指したら、それが初王手で詰んじゃった」

「2022年元旦に相應しい指し初めの一局だね。今年もよろしく」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 11手目22地点の小駒の手が初王手で詰んだ
- 11地点の手に対し1筋の手で応じた
- 初手と2手目は同じ種類の駒を同じ筋に指した

<詰将棋メモ 第146回出題 146-4 >

▲48玉、△42玉、▲96歩、△32玉、▲97角、△54歩、▲31角不成、△12香、▲11銀、△14歩、▲22銀成 まで11手 正解者：12名

推8 2022/1 Pontamon作

2022年(令和4年)の指し初め 11手

「11手で詰んだ指し初めは、2筋と端の手が2回ずつで1筋の手は1回だったね」
「2022年元日らしい差し手だね。あと、令和4年らしく4手目は4筋の手だった」
「駒成や駒取りは2回で、どちらも駒成で小駒を取る手だったね」
さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 11手で詰み
- 2筋と端の手は2回ずつ(1筋は1回)
- 4手目は4筋の手
- 駒成や駒取りは、駒成で小駒を取る2回だけ

<詰将棋メモ 第146回出題 146-5>

▲76歩、△24歩、▲77桂、△42玉、▲85桂、△32玉、▲93桂成、△23玉、▲33角成、△12玉、▲34馬 まで11手 正解者：11名

推9 2022/1 ミニペロ作

2022年は2尽くして 11手

「2022年の年賀推理を作ったよ」

「令和4年と言わないところを見ると、2尽くしだね」

「ご明察。成る手はなく、小駒の不成が2回あるんだ」

「まずは一つ目」

「後手の指し手は二つの筋だけで、交互に着手するんだ」

「二つ目の2だね。それから？」

「飛車の手があったね」

「それ、2と何か関係あるの？」

「.....」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 11手詰
- 成る手はなく、小駒の不成が2回あった
- 後手の指し手は二つの筋だけで、交互に着手した
- 飛車の手があった

<詰将棋メモ 第146回出題 146-6 >

▲26歩、△34歩、▲25歩、△42玉、▲24歩、△32玉、▲23歩不成、△42飛、▲22歩不成、△33桂、▲21角 まで11手 正解者：12名

推10 2022/1 緑倉作

元旦の2局 11手×2

「今日は元旦だから11手目に詰む将棋を指そう。2局にしようか。」

「では僕はどちらも先手で2022年に困んですべての筋の着手回数を0回か2回にするよ。

そして、着手回数が0回か2回の駒は取らないよ。」

「私は後手で令和4年に困んで4手続けて同じ筋に指すよ。

1局目は2手目から2局目は4手目からにするね。

そして、着手は4段目以内だけにするよ。」

「予定通り指せたね。どちらも銀の手がなかったね。」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 11手目で詰む将棋が2局
- どちらも先手はすべての筋の着手回数を0回か2回にした
- どちらも先手は着手回数が0回か2回の駒は取らなかった
- 後手は1局目は2手目から2局目は4手目から4手続けて同じ筋に指した。
- どちらも後手は4段目以内だけだった
- どちらも銀の手がなかった

<詰将棋メモ 第147回出題 146-7>

1局目

▲76歩、△94歩、▲66角、△93桂、▲同角成、△92飛、▲同馬、△同香、▲72飛、△64歩、▲63桂 まで11手

2局目

▲96歩、△42飛、▲97角、△54歩、▲42角不成、△52玉、▲51角不成、△53玉、▲44飛、△52玉、▲54飛 まで11手 正解者：9名

推11 2022/1 はなさかしろう作

2022年寅年の指し始め 20手

「あけましておめでとう！ 指し初めの予行演習してきたよ」

「謹賀新年、待ってたぞ！ それでどんな将棋にするつもり？」

「20手目の2二角引不成で1一の玉を詰ませたい」

「なるほど。でもそれだけでは決まらないね」

「西暦年を12で割って6余るのが寅年だから、

1二への着手に対して本局唯一の6筋への着手で応じたことがある、というのはいかが？」

「……これはまた、こじつけたね。でも解きやすいからそれで投稿しよう」

「というわけで、本年もよろしくお願いします！！」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 20手目の2二角引不成（棋譜表記）で1一の玉が詰んだ
- 1二への着手に対して本局唯一の6筋への着手で応じたことがあった

<詰将棋メモ 第147回出題 146-8>

▲56歩、△12香、▲68玉、△34歩、▲57玉、△77角不成、▲46玉、△88角不成、
▲45玉、△79角不成、▲34玉、△88角不成、▲23玉、△32銀、▲12玉、△31角、
▲22香、△23銀打、▲11玉、△22角引不成 まで20手 正解者：10名

推12 2022/1 斧間徳子作

2022年（令和4年）の指し始め 22手

「元旦の指し初めの将棋、2022年にふさわしく22手で先手玉が詰んだって？」

「新年のお年玉じゃないけど、玉の手が多い将棋だったよ。

先手玉は4回連続で動いて99で詰んだし、後手玉は異なる11カ所の地点に連続で動いたんだ」

「おお、令和4年の1月1日にふさわしいじゃない」

「令和4年といえば、4段目の手がちょうど4回あったよ。駒を成る手はなかったけど」さて、どんな手順だったのでしょうか。

（条件）

- 22手で詰んだ
- 先手は玉を4回連続で動かして99へ移動した
- 後手は玉をすべて異なる11の地点に連続で動かした
- 4段目への着手が4回あった
- 駒を成る手はなかった

<詰将棋メモ 第147回出題 146-9>

▲76歩、△42玉、▲33角不成、△同玉、▲98香、△24玉、▲68玉、△34玉、▲78玉、△44玉、▲88玉、△55玉、▲99玉、△65玉、▲77桂、△76玉、▲74歩、△67玉、▲58金左、△77玉、▲78銀、△同玉 まで22手 正解者：10名

推13 2022/2 けいたん作

初手と7手目は偶数筋への同種の駒の手 8手

「8手で詰みか」

「初手と7手目は偶数筋への同種の駒の手だったな」

「3手目と5手目は同じ筋への着手だったね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 8手で詰み
- 初手と7手目は偶数筋への同種の駒の手
- 3手目と5手目は同じ筋への着手

<詰将棋メモ 第147回出題 147-1>

▲48銀、△34歩、▲76歩、△88角成、▲78金、△同馬、▲88銀、△68金 まで
8手 正解者：18名

推14 2022/2 諏訪冬葉作

数字だらけ 9手

「連続王手して9手で勝ったんだって？」

「おう、3手目から4連続王手。5回6筋の手があった」

「ほかには？」

「成駒の手は2回だった。」

「2から6が揃ってストレートって将棋に関係ないか。」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 9手で詰んだ
- 先手は3手目から4連続王手をかけた
- 6筋の手が5回あった
- 成駒の手が2回あった

<詰将棋メモ 第147回出題 147-2>

▲76歩、△64歩、▲33角成、△62玉、▲51馬、△63玉、▲41馬、△62玉、▲63金 まで9手 正解者：18名

推15 2022/2 Pontamon作

5段目玉を詰める 10手

「あっちの対局で、歩突きは尻に駒がある歩だけだったよ」

「それで、どうなった？」

「10手目に5段目の玉を詰めたよ」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 10手目に5段目の玉を詰めた
- ・ 歩突きは尻に駒がある歩だけ

<詰将棋メモ 第147回出題 147-3>

▲58玉、△32金、▲56歩、△34歩、▲57玉、△33金、▲46玉、△24金、▲45玉、
△35金まで10手 正解者：17名

推16 2022/3 Pontamon作

2段目飛成の初王手 9手

「9手目の初王手で詰めたよ」

「どんな将棋だった？」

「初の駒成の2段目への飛成で詰んだんだよ」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・9手目の初王手で詰み
- ・最終手の2段目への飛成が初の駒成

〈詰将棋メモ 第148回出題 148-1〉

▲76歩、△42飛、▲33角不成、△52玉、▲42角不成、△82銀、▲71飛、△72金、
▲同飛成 まで9手 正解者：17名

推17 2022/3 NAO作

高飛車くん(その8) 10手

「見たかい。俺の5段飛車」

「いつもの作戦だね。成る手はなくて10手で詰みか。同の付く王手が2回あったね」
さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 10手で詰んだ
- 5段目への飛の手があった
- 同の付く王手が2回あった
- 成る手はなかった

<詰将棋メモ 第148回出題 148-2>

▲58飛、△34歩、▲48玉、△77角不成、▲59飛、△同角不成、▲58玉、△55飛、
▲56歩、△同飛 まで10手 正解者：16名

推18 2022/3 ミニペロ作

強制成り 11手

「昨日ネット将棋やって、11手で詰ましてやったよ。4手目の歩を見て、余り強くないと思
ったね」

「ものすごく強い人もいるんだけどね」

「途中まで成る手がなかったなので、11手目も不成で詰まそうとしたのに、勝手に駒が成っ
ちやったんだ」

「パソコンだと、反則手は自動的に修正されるんだよ。おかげで、二歩などの反則手もなくな
ったよ」

「でも、駒を打とうとして、変なところに落っことしてボロ負けしたこともあるな」
さて、この11手目の強制成りで勝った将棋は、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 11手詰
- 11手目は唯一の成る手で、強制成りだけど成らなくても詰んでいた
- 4手目は歩

〈詰将棋メモ 第148回出題 148-3〉

▲76歩、△34歩、▲22角不成、△24歩、▲11角不成、△42玉、▲22香、△33玉、
▲14角、△42銀、▲21香成 まで11手 正解者：15名

推19 2022/4 けいたん作

初王手まで 8手

「初王手まで8手で詰みか」

「金の着手は3回だったが最終手は金ではなかったね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・初王手まで8手で詰み
- ・金着手は3回だったが最終手は金ではなかった

<詰将棋メモ 第149回出題 149-1>

▲78飛、△34歩、▲68金、△77角成、▲48金、△78馬、▲58金左、△69飛 まで8手 正解者：13名

推20 2022/4 NAO作

高飛車くん(その9) 10手

「見たかい。俺の5段飛車」

「相変わらず高飛車な奴だな。たったの10手で詰みか。2筋への金の手が意表の一手だったね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・10手で詰んだ
- ・5段目への飛の手と2筋への金の手があった

<詰将棋メモ 第149回出題 149-2>

▲68玉、△84歩、▲78玉、△85歩、▲68飛、△86歩、▲38金、△85飛、▲28金、△87歩成 まで10手 正解者：9名

推21 2022/4 はなさかしろう作

渋滞のなくしかた 16手

「隣の将棋が終わったみたいだけど、どんな将棋だったの？」

「16手で詰んだよ。すべての手が同一筋への着手だったな」

「ふうん…ものすごく短い手数というわけではないね」

「そうだね。味方の駒の頭への着手がなかったからかな」

「なるほど。それは渋滞してしまいそうだね」

「うん。だからかな、味方の駒の尻への着手は6回あって、そのうち4回は味方の歩の尻への着手だったよ」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

※ 駒の頭は直前、駒の尻は直後の地点を指します。例えば先手の17の歩の頭は16、尻は18の地点、後手の13の歩の頭は14、尻は12の地点をそれぞれ意味します。(作者)

(条件)

- 16手で詰んだ
- すべての手は同一筋への着手
- 味方の駒の頭への着手はなかった
- 味方の駒の尻への着手は6回あり、そのうち4回は味方の歩の尻への着手だった

<<詰将棋メモ 第136回出題 149-3>

▲58玉、△52玉、▲56歩、△54歩、▲57玉、△55歩、▲58飛、△56歩、▲同玉、△57歩、▲55玉、△58歩不成、▲56歩、△57飛、▲54玉、△56飛成 まで16手
正解者：11名

推22 2022/5 ミニペロ作

頭を使え！ 9手

「驚いたね。相手の着手はすべて駒頭だったよ」

「将棋は頭を使うゲームだからね」

「こっちも9手目の初めての駒頭の手で詰ましてやったよ」

「将棋は頭を使うゲームだからね」

「成る手はっさい無かったよ」

「将棋は頭を使うゲームだからね！」

「???'」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 9手詰
- 後手の着手の全てと最終手は「駒頭」で、この5手だけ
- 成る手なし

<<詰将棋メモ 第150回出題 150-1>

▲56歩、△52金左、▲55歩、△54歩、▲同歩、△53金、▲同歩不成、△72金、
▲52金 まで9手 正解者：10名

推23 2022/5 けいたん作

6筋に異種の大駒 10手

「10手で詰みか」

「6筋に異種の大駒がある局面があったな」

「3回あった銀の着手はすべて先手だったね」

「駒成はないな」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・10手で詰み
- ・6筋に異種の大駒がある局面があった
- ・3回あった銀の手は全て先手
- ・駒成なし

<<詰将棋メモ 第150回出題 150-2>>

▲68飛、△34歩、▲38銀、△66角、▲39金、△57角不成、▲49銀、△39角不成、
▲58銀、△48金 まで10手 正解者：9名

推24 2022/5 Pontamon作

不成からの成じゃない 11手

「11手目に1筋の後手陣への手で詰めたよ」

「どんな将棋だった？」

「不成の手の後に成の手があったよ」

「それって珍しくはないよね？」

「でも、不成の手の駒種と成の手の駒種は違ってたんだ」

「ということは、いきなり駒成した駒種と、不成の手だけだった駒種があったんだね」
さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 11手目の1筋の後手陣への手で詰み
- 不成の手より後で成の手があった
- 不成の手と成の手は異なる駒種

<詰将棋メモ 第150回出題 150-3>

▲76歩、△34歩、▲22角不成、△42玉、▲13角不成、△32玉、▲31角不成、△42飛、▲同角不成、△17香成、▲12飛 まで11手 正解者：10名

推25 2022/6 けいたん作

51飛まで 9手

「51飛まで9手で詰みか。これが初王手だったね」

「2手目は4筋の着手だったな」

「不成はなかったね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 9手で詰み
- 最終手は初王手の51飛
- 2手目は4筋の着手
- 不成なし

<詰将棋メモ 第151回出題 151-1>

▲76歩、△42金、▲55角、△74歩、▲82角成、△52玉、▲73馬、△72金、▲51飛 まで9手 正解者：12名

推26 2022/6 けいたん作

とどめは55 10手

「10手で詰みか」

「角の手の王手が2回あったね」

「駒成はないな」

「とどめは55の着手だね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 10手で詰み
- 角の手の王手2回
- 駒成なし
- とどめは55の着手

<詰将棋メモ 第151回出題 151-2>

▲76歩、△32金、▲33角不成、△同金、▲68玉、△44金、▲77玉、△86角、▲66玉、△55金 まで10手 正解者：11名

推27 2022/6 けいたん作

35馬まで 11手

「35馬まで11手で詰みか」

「同の着手が2回あったね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・11手目の35馬で詰み
- ・同の着手が2回あった

<詰将棋メモ 第151回出題 151-3>

▲76歩、△44歩、▲同角、△52玉、▲53角不成、△62飛、▲同角成、△43玉、▲45飛、△34玉、▲35馬 まで11手 正解者：11名

推28 2022/7 Pontamon作

同じ筋 vs 同じ段？ 7手

「さっきの将棋は7手で詰んだよ」

「どんな将棋だった？」

「僕は同じ筋の手を9段目側から1段目側への順で指したんだ」

「じゃ、相手は同じ段の手だけだったんだらう？」

「いや、相手には同じ段や筋の連続着手はなかったよ」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・7手で詰み
- ・対局者の一人は同じ筋の手を9段目側から1段目側への順で指した
- ・相手は同じ段や筋の連続着手なし

<詰将棋メモ 第152回出題 152-1>

▲76歩、△54歩、▲44角、△52玉、▲71角成、△51金右、▲53銀 まで7手
正解者：14名

推29 2022/7 NAO作

高飛車くん(その10) 10手

「桂の手より後に5段目への飛車の手を指してやったぜ」

「いつもの高飛車戦法だね。不成の手はなくてたったの10手で詰みか。」

5段目への飛の手より後の桂の手が勝負を分けたね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・10手で詰んだ
- ・5段目への飛の手より前と後に桂の手があった
- ・不成の手はなかった

<詰将棋メモ 第152回出題 152-2>

▲76歩、△34歩、▲77桂、△同角成、▲68飛、△67馬、▲46歩、△57馬、▲65飛、△47桂 まで10手 正解者：11名

推30 2022/7 ぬ作

接待将棋なのに…… 15手

『何度読んでも、この手しか指す手がない……。接待将棋なのに！』

(彼は角を取った手を思い出した。その角は駒台に乗ったままで。)

『何となく指した3手目の桂跳ねですら利いているなんて……』

(…そして彼は意を決してその手を指し、15手目に詰ませて勝った。)

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・15手目の合法手は詰みとなる1つのみ
- ・3手目は桂
- ・先手は角を取ったが打たなかった

<詰将棋メモ 第152回出題 152-3>

▲36歩、△34歩、▲37桂、△77角不成、▲68金、△同角不成、▲同玉、△42玉、▲77玉、△33玉、▲66玉、△44玉、▲77角、△65金、▲同玉 まで15手 正解者：9名

推31 2022/8 けいたん作

2筋と6筋に角を打つ手あり 9手

「9手で詰みか」

「2筋と6筋に角を打つ手があったな」

「成る手はないね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 9手で詰み
- ・ 2筋と6筋に角を打つ手あり
- ・ 成る手なし

<詰将棋メモ 第153回出題 153-1>

▲76歩、△34歩、▲22角不成、△42玉、▲31角不成、△同玉、▲33銀、△62角、
▲22角 まで9手 正解者：10名

推32 2022/8 ミニベロ・pontamon作

手番と筋の数字 9手

「出題予定作が余詰んでました。何か9手詰ありませんか？」

「それなら、こんな条件でこの手順があるけど、ちょっとしんどいね」

「易し過ぎるなら、『2手目は2筋みたいに手番と着手筋の数字が同じ手が3手連続』にするとか？」

「それいいね。もう私の作品ではないな」

(少し変えただけなので担当作とも言えないなあ)

「あと、足りない条件は、『王手は駒成王手ととどめの成駒王手の2回』と『不成なし』ですね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 9手目で詰み
- 2手目は2筋着手のように手番(対局での手数)と筋の数字が同じ着手が3手連続であった
- 王手は駒成での王手と最終手の成駒での王手の2回
- 不成なし

<詰将棋メモ 第153回出題 153-2>

▲76歩、△74歩、▲33角成、△62玉、▲96歩、△73玉、▲77馬、△84玉、▲95馬 まで9手 正解者：10名

推33 2022/8 チャンプ作

少年の将棋は?(令和Ver)

9手

少年A「君の将棋早く終わったみたいだけど、どんな将棋だったのか教えてよ。」

少年B「どんなと言われても、9手で詰ませて勝っただけだよ。」

少年A「それだけでは何も分からないよ。」

少年B「久々だというのに、このくだけは変わらないんだね。」

少年A「そんなことどうでもいいから、内容を詳しく教えてよ。」

少年B「仕方がないなー、相手(後手)は4通りしか候補手が無い局面で金で駒を取ってたよ。」

少年A「ふむふむ、他には？」

少年B「ないよ。」

少年A「久々だというのに、随分と素っ気ないんだね。」

少年B「・・・」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 9手で詰んだ。
- ・ 後手は候補手が4通りしかない局面にて金で駒を取った。

<詰将棋メモ 第153回出題 153-3>

▲76歩、△34歩、▲22角成、△32飛、▲同馬、△52金左、▲62角、△同金上、
▲41飛 まで9手 正解者：12名

推34 2022/9 ミニペロ作

初手以外全部ナナメ 14手

「さっきの14手で詰んだ隣の将棋、初手以外はすべてナナメに動く手だったよ」

「それは心が曲がっているからじゃ」

「ホントに？ じゃあ成る手は最終手だけだったのは？」

「ケチだから、成る手を最後だけにしたんじゃろ」

「じゃあ、最終手が2回目の王手というのは？」

「それが謎じゃ」

「いいかげんな爺さんだな。テキトーなこと言ってるよ！」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 14手詰
 - 初手以外全部ナナメに動いた※
 - 最終手は唯一の成る手で、2回目の王手
- ※桂馬は不可

<詰将棋メモ 第154回出題 154-1>

▲76歩、△42銀、▲33角不成、△同銀、▲68玉、△44銀、▲77玉、△55銀、▲88玉、△66銀、▲68銀、△77銀不成、▲79玉、△88銀成 まで14手

正解者：11名

推35 2022/9 Pontamon作

大駒乱舞 10手

「2017年7月の対局の途中図が出て来たよ」

「どれどれ、角で飛を取れる局面だね。もちろん飛を取ったんだろ？」

「それが、棋譜によると角の手だったけど飛は取らなかったよ」

「どんな将棋だったの？」

「着手があったのは4つの筋で、それらの筋への飛移動の手は、2、3、4、5マス移動だった10手詰だよ」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

10手で詰んだ

角で飛を取れる局面で飛を取らない角の手があった

着手あった4つの筋への飛移動の手は2～5マス移動だった

<詰将棋メモ 第154回出題 154-2>

▲78飛、△34歩、▲38飛、△77角不成、▲68飛、△同角不成、▲58玉、△55飛、▲77角、△57飛成 まで10手 正解者：9名

推36 2022/9 NAO作

高飛車くん（その11） 10手

「今日も5段飛車を指してやったぜ」

「相変わらず高飛車な奴だな。成る手はなくて10手で詰みか。

歩を突く手に対して直ぐ8筋への銀の手で応じる攻防があったね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

（条件）

- ・10手で詰んだ
- ・5段目への飛の手を指した
- ・歩を突く手の直後、8筋への銀の手で応じた
- ・成る手はなかった

<詰将棋メモ 第154回出題 154-3>

▲68玉、△32飛、▲76歩、△82銀、▲33角不成、△同飛、▲77玉、△74角、▲66玉、△35飛 まで10手 正解者：10名

推37 2022/10 Pontamon作

後手龍がある終局図 9手

「2017年7月に9手目の初王手で詰めた終局図が出て来たよ」

「どんな図？」

「後手の龍がある図だよ」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

（条件）

- ・9手目の初王手で詰んだ
- ・終局図には後手の龍がある

<詰将棋メモ 第155回出題 155-1>

▲76歩、△42飛、▲33角成、△32金、▲43馬、△41玉、▲61馬、△47飛成、▲52金 まで9手 正解者：16名

推38 2022/10 けいたん作

とどめは2筋の駒を取る 10手

「10手で詰みか」

「6手目は5段目に角を打つ手だったね」

「とどめは2筋の駒を取る手だったな」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 10手で詰み
- 6手目は5段目に角を打つ手
- とどめは2筋の駒を取る手

〈詰将棋メモ 第155回出題 155-2〉

▲76歩、△34歩、▲55角、△同角、▲48玉、△15角、▲38玉、△37角左不成、
▲48銀、△28角成 まで10手 正解者：14名

推39 2022/10 チャンプ作

オウム返し（おもちゃ箱限定ver） 12手

将ちゃん「ねえピーちゃん、久しぶりにまた将棋やろうよ。」
ピーちゃん「ゴブサタ、ゴブサタ。シヨウ、シヨウ。」
将ちゃん「ピーちゃんは僕の指した筋の手をマネするから僕が先手でいいよね？」
ピーちゃん「イイヨ、イイヨ。」
将ちゃん「お願いします。」
ピーちゃん「オネガイシマス。」
将ちゃん「ありゃ～12手で詰まされちゃったー。」
ピーちゃん「カッタ、カッタ。ワーイ、ワーイ。」
将ちゃん「5手目に指した歩をすぐ(6手目)に取られちゃったのは失敗だったかなー。」
将ちゃん「不成の手は無かったけど、11手目の▲26歩が敗着になっちゃったなー。」
ピーちゃん「ソウダネ、ソウダネ。」
将ちゃん「相変わらずピーちゃん強いなー。」
ピーちゃん「ドンマイ、ドンマイ。」
さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・12手で詰んだ
- ・5手目に指した歩を6手目にとった
- ・11手目は▲26歩
- ・不成の手は無かった
- ・後手は直前に先手が着手した筋をマネて（同じ筋へ）着手し続けた

〈詰将棋メモ 第155回出題 155-3〉

▲38銀、△34歩、▲48玉、△44角、▲26歩、△同角、▲39玉、△37角成、▲23飛成、△27歩、▲26歩、△28歩成 まで12手 正解者：13名

推40 2022/11 けいたん作

打と右が棋譜にある 9手

「9手で詰みか」

「打と右が棋譜にあったな」

「端の手が2回あったね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 9手で詰み
- 打と右が棋譜にあり
- 端の手2回あり
- 余詰修正

会話と条件での「端の手」を「1筋の手」に修正。

<詰将棋メモ 第156回出題 156-1>

▲76歩、△34歩、▲22角不成、△12香、▲11角打、△42玉、▲31角不成、△32玉、▲22角右成 まで9手 正解者：12名

推41 2022/11 Pontamon作

後手の最多合法手 9手

「あ～あ、残念無念、9手で詰まされてしまったよ」

「どんな将棋だった？」

「僕は手が広くなるように指してたんだ」

「それで？」

「感想戦によると、9手で詰む手順では後手の合法手が最多になる局面で5筋の手を指したのがまずかったみたい」

「後手の最多の合法手の数っていくつなの？」

「気が静まったらあとで教えてあげるよ」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 9手で詰み
- 9手で詰む手順では後手の合法手が最多な局面で5筋の手を指した

〈詰将棋メモ 第156回出題 156-2〉

▲76歩、△42金、▲33角不成、△41玉、▲42角不成、△99角不成、▲31角不成、△52香、▲42金 まで9手 正解者：9名

推42 2022/11 ミニペロ作

三捨利警部の推理 謎の11手

11手

「今度の事件は11手詰のようです」

「被害者（後手）は、8手目の金を含めて、二つの筋を交互に指したようです」

「成る手はなく、不成りが一度だけあったようです」

「駒を取る手が一度だけありましたが、使ってはいません」

「ごくろうさん。それだけ分かれば充分だよ」

三捨利警部は、もう手口を見抜いたのでしょうか。

（条件）

- 11手詰
- 後手は8手目の金を含めて二つの筋の手を交互に指した
- 成る手はなく、不成りが1回だけ
- 駒取りは一度だけあったが打つ手は無い

〈詰将棋メモ 第156回出題 156-3〉

▲26歩、△34歩、▲25歩、△42玉、▲26飛、△33玉、▲56飛、△42金、▲53
飛不成、△32銀、▲76歩 まで11手 正解者：10名

推43 2022/12 Pontamon作

3回動かす 8手

「さっきの将棋は8手で詰んだよ」
「どんな将棋だったの？」
「先手はある駒を3回動かしたよ」
さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・8手で詰み
- ・先手はひとつの駒を3回動かした

<詰将棋メモ 第157回出題 157-1>

▲58玉、△84歩、▲68玉、△85歩、▲78玉、△86歩、▲68飛、△87歩成 まで
8手 正解者：11名

推44 2022/12 けいたん作

同種の大駒がある筋が2つ 10手

「10手で詰みか」
「6手を指した局面では、同種の大駒がある筋が2つあったね」
「駒成はないな」
「玉の手はあるが金銀の手はないね」
さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・10手で詰み
- ・6手を指した局面では、同種の大駒がある筋が2つあった
- ・駒成なし
- ・玉の手はあるが金銀の手なし

<詰将棋メモ 第157回出題 157-2>

▲76歩、△42飛、▲33角不成、△同角、▲48飛、△36角、▲77桂、△同角不成、
▲58玉、△46桂 まで10手 正解者：11名

推45 2022/12 チャンプ作

美野憐9兄妹再来!

18手

六実「なんか招待状みたいのが届いてるわよ〜」

隆二「兄貴、どうやら長らく中止してた町の将棋まつりのイベントがあるみたいだぜ?」

健一「おお? 久々じゃねえか!」

四郎「しかも僕たちには席上対局を用意してあるって書いてあるよ?」

七海「それは大変光栄なことですね」

九美「ウチも、行ってみたいなあー」

源三「招待されたら全員参加するしかなさそうやな」

圭五「腕が鳴る!足が鳴るぜえええ!そうとなりゃ試合に備えて一っ走りだ!うおおおー!」

八重「何をしに行くつもりよ・・・」

・・・イベント当日・・・

九美「対戦相手はあの人みたいだねえー、私たちが後手だって、みんな頑張ろうねえー」

・・・対局開始・・・

八重「18手で我が軍の勝利です」

圭五「みたか!俺の必殺シュート!」

六実「成る手は無かったけど余裕♪余裕♪」

四郎「ちょうど皆、1手ずつ指せて良かったね」

隆二「お互い持ち駒を使い切ったいい一局だったな」

源三「しかし、なんやえらい王手の多い将棋やったな」

七海「・・・察するに4種類の駒による王手が全部で8回あったかと」

健一「久々だったが全員腕は鈍ってなかったみてえだな!」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・18手で詰んだ。
- ・後手は1筋~9筋の手を1回ずつ着手した。
- ・成る手は無く、4種類の駒による王手が計8回あった。
- ・終局時、お互いの持ち駒は無かった。

<詰将棋メモ 第157回出題 157-3>

▲76歩、△34歩、▲77桂、△同角不成、▲68飛、△同角不成、▲同玉、△18飛、
▲28角、△同飛不成、▲48金、△同飛不成、▲77玉、△85桂、▲86玉、△59角、
▲96玉、△95金 まで18手 正解者：8名